

会 議 録 (1)

| | |
|-----------------------|---|
| 会 議 の 名 称 | 令和2年度第1回(通算2回)ジョンソン基地跡地利用計画審議会 |
| 開 催 日 時 | 令和2年9月10日(木) 午後2時00分 開会・午後3時42分 閉会 |
| 開 催 場 所 | 入間市役所4階 大会議室 |
| 議 長 氏 名 | 関根 栄一(ジョンソン基地跡地利用計画審議会会長) |
| 出席委員(者)氏名 | 天野 真治、安登 利幸、池田 拓、齊原 潤、織田 文代、 熊木 真知子、小嶋 文、小林 昌幸、菅原 聡、関根 栄一、 藤田 勝仁、三浦 重美、水村 小百合、山畑 雅廣 |
| 欠席委員(者)氏名 | 岩崎 茂 |
| 説明者の職氏名 | 企画課政策推進室長 石原 健二 企画課政策推進室主幹 山本 優 |
| 会 議 次 第 (公開・非公開の別) | 1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 (公開) (1) 道路の整備に関する協議 ①道路整備の必要性について ②道路の整備時期について (2) 今後の進め方について 4 事務連絡 5 閉会 |
| 非 公 開 理 由 | |
| 傍 聴 者 数 | 2名 |
| 配 付 資 料 | 令和2年度第1回(通算2回)ジョンソン基地跡地利用計画審議会 次第 資料3-1:ジョンソン基地跡地利用計画審議会委員名簿(差し替え) 資料3-2:事務局職員名簿(差し替え) 資料6:ジョンソン基地跡地利用計画の策定について(中間答申) 資料7:要望書(平成12年4月13日、埼玉県入間市議会) 資料8:ジョンソン基地跡地留保地(入間市駅前側)活用に向けた 業務・スケジュール(案) 資料9:道路整備におけるメリット・デメリット 資料10:道路先行整備イメージ図(都市計画図利用版) 資料11:都市計画マスタープラン抜粋 |

| | |
|----------|---|
| 事務局職員職氏名 | 企画部長 鳥山 政之 企画部次長 浅見 嘉之 企画課政策推進室長 石原 健二 企画課政策推進室主幹 山本 優 企画課政策推進室主任 中島 良太 |
| 会議録作成方法 | 要点筆記 |

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

委員の変更に伴う委員委嘱を行った後、開会した。

(1) 道路の整備に関する協議

①道路整備の必要性について

議題 (1) ①について事務局から説明した後、協議を行った。

②道路の整備時期について

議題 (1) ②について事務局から説明した後、協議を行った。

(2) 今後の進め方について

議題 (2) について事務局から説明した後、質疑応答を行った。

(1)、(2) の議題終了後、事務局から事務連絡をして閉会した。

会 議 録 (3)

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-------|---|
| | (委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する。) |
| | (1) 道路の整備に関する協議 |
| | ①道路整備の必要性について |
| 関根会長 | それでは、議題 (1) 「道路の整備に関する協議」①「道路整備の必要性について」事務局から説明をお願いします。 |
| 山本主幹 | 道路整備の必要性について、資料に沿って説明する。(資料 4 - 3、資料 6 ～資料 1 1 に基づいて説明) |
| 関根会長 | 事務局より、道路の先行整備を検討するに至った経緯、今後のスケジュール案、道路整備に伴い想定されるメリット・デメリット、市の道路整備に対する考え方の説明があった。ここで、道路整備の必要性について委員の皆様の自由な意見、または事務局の説明に対する質問をいただきたい。 |
| 天野委員 | 資料 9 のデメリットにあるように、広大な土地を一体で使おうとすると、道路が妨げになると考える事業者もあると思うが、事業者からそのような問い合わせがきているか。 |
| 石原室長 | 具体的な協議はないが、事業提案をお持ちになる事業者から、そのような意見をいただくこともある。 |
| 天野委員 | 大きな研究所などを誘致しても良いと思う。方向性を狭めない形で考えていただきたい。 |
| 安登委員 | 平成 2 0 年時の利用計画において、A ～ C ゾーンの方向性を示せている |

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-------|---|
| | <p>ため、この考え方に基づくものであれば、道路整備がそこまで選択肢を狭めるものではないと考える。このプランに則れば、道路を作る意味はあると思う。アナウンス効果もあるため、道路を先行整備しても良いと考える。陸橋等で各ゾーンをつなぐことも可能であり、道路がそこまで分断をしてしまうものでもないと考える。むしろ、回遊性の向上、交通の利便性が増すというメリットの方が大きいと考える。事務局説明に学生の利用という内容があったので、歩行者や自転車の利便性にも工夫した道路が良いのではないか。また、利用計画の見直しにあたっては、平成20年時の計画であることを踏まえて、民間事業者や市民を含めたワークショップを開催して、ニーズの発掘等を並行して行っていくと良いと思う。</p> |
| 池田委員 | <p>整備する予定の道路は国道になるのか。それとも市道になるのか。</p> |
| 石原室長 | <p>市道になる。</p> |
| 池田委員 | <p>資料9のデメリットをどれだけ減らせるかは、この審議会で良い知恵をどれだけ出せるかがポイントである。国有地の制約があっても、地域によって特性を見出していけば良い。例えば「ジョンソンジュニアタウン」と名付けて、本家ジョンソンタウンと連携して、住所地名にカタカナ表記を用いるなどである。留保地が道路によって物理的に分断されていても、利用形態や景観などにより一体性は損なわれにくくなり、さらには、個性ある住所表記としてのPRに期待できる。信号機をおしゃれにしたり、マンホールに「いるティー」を表示したり、ミストシャワーを設けたり、セグウェイで移動できるようにしたりと、本家のジョンソンタウンにアプローチする取組も面白いのではないかと考える。入間市で育った子どもたちにとって、魅力的なまちづくりをしていくことが大事だと思う。景観整備やカタカナの住所表記の導入は、条例の整備等が必要になるかもしれないが、</p> |

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-------|---|
| 齊原委員 | <p>入間市駅を降りたくなるような魅力の一つとして、多くの市民から賛同を得るのではないかな。</p> <p>留保地の活用は、市民の意見が吸い上げられて、駅周辺地域の活性化につながるものであれば、非常に良いと思う。高低差がある区域のため、将来の一体的な土地利用を見据えて、道路周辺の施設整備に制約の生じないような道路を計画されれば良いと考える。</p> |
| 織田委員 | <p>東京家政大学として考えたメリットは、現在、入試広報に掲載するアクセスが稲荷山公園駅からしか載っていないため、掲載されるアクセス手段が増える。入間市駅は特急や快速急行が止まるので、都心からのアクセスが多少良くなる。道路整備に合わせて、大学構内の西側に門が新設され、学生の動きに合わせて地域交流の活性化、商業開発・公共利用施設の発展につながる道路としていただければ、学生の空き時間に活用されることが増えると思う。心配する点としては、大学の西門設置は、守衛の配置や構内道路環境の整備、段差の整備等が必要になり、学内の大掛かりな工事が予想されることが挙げられる。なお、学生が利用する道路としては、街灯の整備、見通しの良い道路など、安全性を重視していただきたい。また、地形を生かして、北側の景色や飛行機が眺められるようなカフェをはじめ、ファッションや飲食店、スポーツ施設が設けられると、女子学生に多く利用されるのではないかな。ジョンソントウンのような街並みを再現しても良いと思う。さらには、保育施設、医療施設の配置により、学生のボランティア活動や地域交流に発展できればなお良いと考える。</p> |
| 熊木委員 | <p>学生にとっては、新たな道路にバスが通るのか、そこを歩いて通った場合時間短縮になるのか、といったところがメリットになるのではないかな。福祉関係事業者の送迎や狭山保健所利用者の利便性にもつながると思う。</p> |

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-------|--|
| 小嶋委員 | <p>稲荷山公園方面に複数のルートがあるのは良いことである。医療・保育などの施設もあると良いと考える。先ほどから話に挙がっているジョンソントウン関連の内容は、同じく活性化につながると思う。</p> <p>国が進めるコンパクト＋ネットワークのまちづくり、公共交通を中心とした広がりすぎない土地利用、持続化の観点、駅前の魅力を高めていくという点においても、道路整備は重要であると思う。道路ネットワークを改良することが魅力になっていくと考える。資料９にある②～④のメリットは、地域の魅力にもつながると考える。駅前の顔となる道路として、車だけでなく歩行者、自転車にとって魅力的な道路に整備していただきたい。</p> |
| 菅原委員 | <p>国道１６号側の豊岡小学校区において、現在の通学路は入間市駅駅舎の中及び駅前プラザを通っており、馬頭坂線は利用していない。今後も西武鉄道の許可をいただけるのであれば、安全な動線として利用させていただきたいと考えているので、整備された道路も通学路にはなりにくいと考ええる。よって、通学路としての影響はあまりないものと考ええる。馬頭坂線が都市計画決定されたのがだいぶ前であり、西武鉄道の高架ができたのが平成５年ごろであったと思う。馬頭坂線が開通するまで２０年近くかかっており、国道１６号の整備や地権者との調整もあるかと思うが、年数経過により事業効果が薄れるところもある。道路整備すると決まったら、なるべく早期に実施していただきたい。また、市の公共施設マネジメントにかかる事業が３０年かけて進められる中で、第三期とだいぶ先ではあるが、豊岡小学校と東町小学校の合併という話を聞いている。留保地の利用に当たっては、そうした動きとリンクして進めていただければと思う。次に、整備にあたっては、周辺の土地利用のマスタープランやグランドレベルの設定をしておかなければ、この道路の設定が難しいと思われる。ライフラインの埋設化となれば共同溝を設置すると思うが、周辺の土地利用の仕方に</p> |

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-------|--|
| 藤田委員 | <p>よって共同溝の形状や整備するライフラインも変わってくる。想定を超えた場合、再整備・再工事と費用がかかる。一度開通した道路を工事するのは大変なことである。そのため、周辺の土地利用を決めてから道路を先行整備することが望ましい。</p> <p>本年度、青年会議所では中心市街地活性化の観点で運動を進めている。ぜひ留保地を中心市街地と位置付け、中心市街地の活性化を目指していただきたい。資料 9 を見て、メリットの方が大きいと捉え、道路整備には賛成だが、やはり道路を整備した後が大事だと思う。入間市駅前広場のバス停は、ロータリーの車道を渡って行く状況であるため、今後の混雑を想定して、安全面に配慮した駅前広場の見直しも図っていただきたい。また、狭山市駅行きの西武バスは、現在河原町を通るルートであるが、馬頭坂を通るルートも考えられると思う。様々なルートができれば、駅利用者も増えると思う。また、駐車場の整備も考えてもらいたい。</p> |
| 三浦委員 | <p>整備する道路の大きさなどの想定はあるか。また、線路脇に道路を整備することはできないのか。馬頭坂線の利用状況を実態把握したうえで、整備を検討されてはどうか。周辺の土地利用とどちらが先かという点もあるが、道路が整備されてから建物ができていく方が望ましいと思うので、利用性のある道路を先に造ることは賛成である。</p> |
| 石原室長 | <p>道路の大きさについては、資料 7 の要望書に記載されている幅員 22メートル、総延長約 300メートルの規模を現在も想定している。道路の位置については、利用計画等において、過去からの長い期間検討されたものであるため、その方向性を尊重して進めている。交通量については、本年度交通量調査を実施する予定であったが、コロナ禍による駅や道路の利用状況の変化を踏まえ、実施を見送ることにした。今後も財政状況や社会の</p> |

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-------|---|
| 三浦委員 | <p>変容を勘案した上で、実施を検討したい。</p> <p>資料 6 の図にある「誘導地（国）」というのは、この内容で進められているのか。</p> |
| 山本主幹 | <p>平成 1 1 年当時はこのように想定していたようだが、現在は平成 2 0 年に策定した利用計画のゾーニングを想定しており、今後この利用計画の見直しを進めていく。</p> |
| 水村委員 | <p>高校や大学へのアクセスから、道路整備は良いと考える。歩行者、自転車、自動車それぞれが安全に通行できるような整備であると良い。近くにある彩の森入間公園や土地の高低差を活かした整備、先ほどあったカフェなどが設けられれば、入間市がおしゃれになると思う。小さい子どもから高齢者までが楽しめるような街並みを実現すると良いと思う。</p> |
| 山畑委員 | <p>入間市駅前広場を発展させるためにも、早く道路を造っていただきたい。入間市駅に来る知人が「入間市駅は目の前が土手じゃないか」と言う。一般的に、駅は道路に面しているものである。</p> |
| 小林副会長 | <p>地形がすり鉢状であることによる制限、入間市駅側に既設の建物があるという点から、道路はある程度形状が決まってくると考える。また、道路がないと建築許可が下りにくい考えるので、道路の整備は良いと思う。ただし、整備する道路はロータリーにかかる部分もあると思うので、送迎の車用の駐車スペースを設けないと混雑してしまうと思う。また、集客の観点から、入間市駅の利用者が多くなるような開発を進めていただければと思う。土地が分断されるという懸念は、残る敷地の面積がある程度広いことで解消されると思われるため、道路整備に賛成である。</p> |

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-------|--|
| 関根会長 | <p>いろいろな意見、質問をいただいた。市としては、道路整備は必要と考えているとのことであるが、「道路整備の必要性について」審議会としての結論を出す必要があると考える。事務局の説明に加えて、委員のみなさんが考えるメリット、デメリットがあれば、「道路整備の必要性について」に対する本審議会としての結論の裏付けとなるので、積極的に発言願う。</p> |
| 委員一同 | (特になし) |
| 関根会長 | <p>①「道路整備の必要性について」に対する本審議会の結論は、「道路整備は必要である」としたいと思うがよろしいか。</p> |
| 委員一同 | (異議なし) |
| 関根会長 | <p>①「道路整備の必要性について」に対する本審議会の結論は、「道路整備は必要である」とする。</p> |
| 関根会長 | <p>②道路の整備時期について</p> |
| 関根会長 | <p>続いて、②「道路の整備時期について」事務局から説明をお願いします。</p> |
| 山本主幹 | <p>道路の整備時期について、資料に沿って説明する。(資料8、資料9に基づいて説明)</p> |
| 関根会長 | <p>事務局より、先行整備に伴い想定されるメリット・デメリット等について説明があったが、委員から意見や質問はあるか。</p> |

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-------|---|
| 池田委員 | 留保地における上下水道関係や電柱の地中化など、インフラに関する予算はもう検討に入っているのか。 |
| 石原室長 | 留保地の整備についての具体的な予算は検討している段階で、現時点ではまだ積算していない。いろいろな意見をいただき、また、開発の手法にもよるので、利用計画の検討を進めながら今後の状況に応じて予算についても検討していく。 |
| 関根会長 | 他になれば、これまでの議論を踏まえて、②「道路の整備時期について」に対する本審議会の結論は、「利用計画の策定と併せて、留保地の一体的な活用も視野に入れて時期の検討を図ること」としたいと思うがよろしいか。 |
| 委員一同 | (異議なし) |
| 関根会長 | ②「道路の整備時期について」に対する本審議会の結論は、「利用計画の策定と併せて、留保地の一体的な活用も視野に入れて時期の検討を図ること」とする。 |
| 関根会長 | (2) 今後の進め方について 続いて、議題(2)「今後の進め方について」事務局から説明をお願いする。 |
| 山本主幹 | 今後の進め方について説明する。 本日の結論に基づき、10月7日(水)午前10時に予定している令和2年度第2回(通算3回)審議会の通知とともに、事務局が答申案を9月下旬に発送する。委員のみなさまには、答申案をご確認のうえ、次回審議 |

| 発 言 者 | 発 言 内 容 |
|-------|--|
| | <p>会に出席いただきたい。次回審議会においては、答申案に対して委員のみなさまから意見、質問をいただき、その内容を踏まえて、その場で答申案を修正する。修正後の答申案を確認、同意いただき、答申とさせていただきたい。</p> |
| 関根会長 | <p>ただいまの事務局からの説明を踏まえ、質問等あるか。</p> |
| 委員一同 | <p>(特になし)</p> |
| 関根会長 | <p>それでは、議題（２）「今後の進め方について」は、ここまでとさせていただきます。</p> <p>事務局から事務連絡はあるか。</p> |
| 山本主幹 | <p>(事務連絡)</p> |
| 関根会長 | <p>委員から質問等あるか。</p> <p>(特になし)</p> |
| 関根会長 | <p>それでは、以上をもって令和２年度第１回（通算２回）ジョンソン基地跡地利用計画審議会を終了する。</p> |

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和 2 年 10 月 1 日

議 長 の 署 名

関根 栄一

議長が指名した者の署名

安澄 利幸

